

ましまずの里

～自分で考え、みんなで学び合い、くらしを自分たちで考えてつくる子どもを育みます～

No. 7
R元. 12. 23
校長
海老洋一

2学期84日間、全児童が友達とわかり合いながら学習を積み上げました

12月23日の2学期終業式。どの学年も自分で考え、友達とわかり合いながら、一生懸命に学習に取り組みました。また、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、大きな事故やけががなく過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

2学期終業式 校長講話

さあ、みなさん、どんな2学期でしたか？私は、みなさん一人一人がそのことを自分の心でよく考えて、毎日の学習やくらしづくりをよくがんばったと思っています。どの学年もどの学級も、勉強は心を落ち着けて、一生懸命に学習課題を解決しようと、自分で考え、みんなで意見を出し合い、勉強がわかるように、そしてできるように取り組んでいました。学校へいらっしゃるお客様や外部の先生方も、みなさんが集中して学習に向かっている姿をたくさんほめていました。

実は、そのことがよくわかる結果があるのです。それは、みなさんに11月末に答えてもらった児童アンケートの結果です。いくつか紹介します。全部で11の質問があり、「よくあてはまりますとおおむねあてはまります」、つまり「私はがんばりました」と答えた中で、一番ポイントが高かったのは、どんな質問だったと思いますか。それは「あなたは高揃小学校で勉強したり、友達と遊んだりすることが楽しいですか」という質問でした。次にポイントが高かったのは、「先生は、勉強をわかりやすく教えてくださいませんか」という質問でした。これは、2学期先生方もみなさんと一緒にがんばって、みなさんのわからないことがわかるように、できないことができるようにたくさん教えてくださったことの表れです。また、質問の中で去年よりも「がんばった人の割合が多かった」のは、「あなたは、勉強で友達と考えを教え合ったり、発表しあったりすることが楽しいと思いますか」という質問でした。2番目は、「あなたは、相手の気持ちを考えて行動することができていると思いますか」という質問でした。

私は、この結果がすごくうれしいです。これまで何回も話していますが、高揃小学校は、みんなで学び合う学校です。ですから2学期は、先生や友達の話をよく聞いて、特に仲間である友達のことをよくわかってあげようという気持ちを持って、一生懸命に自分の学習を積み上げきたみなさんのがんばりが表れたと思っています。

1年生

すっかり小学校のくらしにも慣れた1年生。幼稚園や保育園ではしなかった難しい学習も毎日毎日、少しでもわかるように、できるようにがんばりました。そして、くらし方では時計を見て行動できる力や給食の準備や後片付けも短い時間で、みんなで協力してできる力もつきました。私は、このように1年生みんなができることが増え、成長したのは、一人一人のがんばりはもちろんありますが、実は毎日の学習やくらしの中で、そして運動会やましまず発表会等の行事で2年生から6年生までのお兄さんやお姉さんが一生懸命に学んでいる姿、学習し発表している姿を見て真似しよう、自分もやってみようと考えて、くらしをつかったからだと思います。



2年生

2年生は1年生の手本となりました。特に、運動会でのことです。去年今の3年生から教えてもらったことを思い出しながら、今年は自分達が1年生に勝つための作戦を教えるというめあてを持って一人一人が取り組んでいました。整列も移動も、作戦の話し合いも1年生をしっかりとリードしていました。また、2年生は毎日のくらしのふりかえりをよくしていました。ノートにも書いています。だから、友達のがんばっている姿や優しい言葉がけや態度に気づくことができているのだと思います。さらにそれを、みんなで認め合ったり応援しあったりしているから、居心地のよい気持ちで毎日を過ごせているのだと思います。





3年生

「なりたい自分」をイメージしながら、2学期のくらしをつくってきた3年生。4年生と一緒に出演した天童市小学校音楽会では、「どんな姿でステージに立ちたいか」をよく考え、そのために「聴いてくれる人に自分達の思いを伝えたい」と歌声だけでなく、体全体を使って表現していました。多くの聴いている人たちを感動させました。なぜそのようなことができたのでしょうか。私は、きっと**自分の気持ちを出して表現するには、「自分のことを見てください」と3年生一人一人が自分の心を開くことができていたから**だと思います。そしてそれは友達のことともわかりながら、みんなと創りあげたからこそ、価値がある学習になったのだと思います。

4年生

上学年として、5年生や6年生の学ぶ姿を見ながら、自分達もしっかりと4年生としての学びをつくっていかうとするくらしができています。授業中も集中して、学習の課題を解決しようといつも真剣に考え、発表し、みんなでわかろうとしている学習の姿勢が見られました。これはすごいことなのですが、それが当たり前のように取り組んでいる4年生の姿に成長を感じました。**4年生は、先生や友達からの話をしっかりと聞いて、自分のこととして、自分だったらどうするかしっかりと考える習慣が、さらについたのではないかと**思っています。さらに、自分は友達と違って当たり前、その違いを受け止め、わかろうとする力もついていると思っています。



5年生

6年生の学ぶ姿を間近で見ながら、「自分でしっかり考えて、みんなで行動することの大切さ」をわかりながらくらしをつくとともに、「時間や態度の切り替えの意識」つまりけじめを意識してくらしをつくってきました。特に私は4年生と学習した「協力・安全・チャレンジ」をスローガンにした宿泊学習で、みなさんはとても成長したと思っています。一人一人が役割を持って4年生をリードして声をかけ、行動しようと努力していたからです。また、米づくりの学習にも一生懸命に取り組みました。ましみず発表会の、米づくりの魅力とともにみなさんの思いがよく伝わりました。お世話になった地域の先生方へも感謝の気持ちを伝えることができました。



6年生

毎日の学習はもちろん、全校生を動かした運動会やましみず発表会、児童会活動等、全校生のリーダーとして、下級生のことをよく考えてくらしをつくりました。**みなさんのそのような学習に向かう姿勢や態度は、下級生の手本となっています。**特にハッカ祭りでのみなさんの学習に、下級生はたくさん学び、「ほくもわたしも、6年生のように発表したい」と思ったことでしょう。地域の方も、「一生懸命に学習に取り組んでいる6年生の姿に感動しました」と感想を述べています。最上級生として、真剣に学ぶ毎日の姿が、今の高掬小学校全体のくらし全体の姿です。**卒業に向けて、どんな姿を下級生に示して巣立っていくのか、しっかりと自分で考えて、そして、みんなでわかり合いながら、中学校に向けた学習を3学期、積み上げてください。**



祝 やまがた未来賞 受賞 公益財団日本教育公務員弘済会山形支部



地域に伝わる伝統芸能等を長年、計画的・継続的に伝承している活動を応援し、山形の未来をさらに拓いてほしいという願いが込められた、栄えある『やまがた未来賞』を本校の「獅子踊り」が受賞しました。〈画像は11月9日 山形市内ホテルでの授賞式〉

さらに、高掬地区女性会貸衣装部の方々からとPTAからも多大なご支援をいただき、この賞と合わせて、今後不足する『獅子頭』を寄贈していただくことになりました。心より感謝申し上げます。